

日本語学習者のカタカナ語サ変動詞の使用実態

—日本語学習者コーパス I-JAS の分析から—

藤原史織（東京大学）・山下直子（香川大学）

fuji.9211.shio@gmail.com・nyamash@ed.kagawa-u.ac.jp

【要約】

本研究は、日本語学習者がカタカナ語サ変動詞をどのように使用しているか探ることを目的としたものである。学習者がカタカナ語を使う文脈や共起語（コロケーション）を明らかにすることをめざし、「I-JAS」多言語母語の日本語学習者横断コーパスを用いて使用状況を分析した。その結果、コーパスにおいて、語によって程度は異なるが、学習者の使用実態は母語話者と違いがみられることが明らかになった。特に、学習者にとって、カタカナ語サ変動詞の共起語の選択、文脈における類義語との使い分け、多義的な使用が難しいことがわかった。

1. 研究の背景と目的

カタカナ語は日本語の語彙で周縁的な存在とされてきたが、その一部が基本語彙として定着しつつあることが指摘されている（金 2012, 茂木 2015 等）。カタカナ語がこれまで使われていた類義語に代わって使用される、あるいは類義語と共存するようになったのである。日本語学習者にとってカタカナ語の学習には、さまざまな困難点があることが指摘されているが（石綿 2001, 中山・陣内・桐生・三宅 2008 等）、特に、カタカナ語とその類義語の使い分けといった「使用」には困難をとまなう。

このカタカナ語の「使用」に関する調査として、山下・畑・轟木（2018）等では、カタカナ語と類義語の使い分けに関して質問紙調査をおこなっている。その結果、日本語学習者も自分なりのルールに基づきカタカナ語とその類義語を使い分けようとしているものの日本語母語話者と違いやずれがあり、使い分けが難しいことが明らかになった。また、山下・平田（2020）は、コーパスを用いて母語話者の使用実態を分析したところ、カタカナ語とその類義語の使い分けが認められたが、学習者の使用実態を探る調査が必要であるという課題が残された。

そこで、本研究では、コーパスでの使用状況を分析して、日本語に定着しつつあるカタカナ語のサ変動詞を日本語学習者がどのように使っているのかを明らかにすることを目的とする。学習者がカタカナ語を使う文脈、意味やカタカナ語と共起する語（コロケーション）を分析する。また、母語話者の使用と比較しカタカナ語の使用の困難点を探る。

2. 調査方法

2.1 調査対象と分析方法

本調査では、日本語学習者の使用実態を探るため、国立国語研究所の「I-JAS」、多言語母語の日本語学習者横断コーパス（International Corpus of Japanese as a Second Language）を利用する。これは、12 言

語の母語の海外の日本語学習者、および国内の教室・自然環境の学習者の発話データと作文データを収集・収録したコーパスである。国立国語研究所コーパス検索アプリケーション「中納言」を用いて検索をおこなった¹。日本語母語話者の使用と比較するため、一部、国立国語研究所の「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」も利用し²、検索システムとして国立国語研究所・Lago 言語研究所の NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) を用いた³。

分析方法は、カタカナ語が使われる用例と学習者の母語、習熟度（日本語レベル）、タスクの種類を抽出した。得られた用例は『広辞苑第七版』（2018）等の辞書の意味で分類して、カタカナ語と共起する語やカタカナ語が使われる文脈・場面を分析した。また、必要に応じて、母語話者の結果と比較をおこなった。

2.2 調査語彙

調査に用いた語彙は、日本語に定着しつつあるカタカナ語であると考えられる「する」がついて動詞として使われるカタカナ語サ変動詞である。BCCWJ で日本語母語話者使用頻度が高く、類義の和語や漢語との使い分けのある語のうち、I-JAS で日本語学習者の使用頻度が高い5語である。具体的には、「アップする、オープンする、ストップする、チェックする、リラックスする」である。

3. 調査の結果と考察

3.1 I-JAS でのカタカナ語の使用量

まず、I-JAS での日本語学習者と比較群である日本語母語話者のカタカナ語の使用量について述べる。表1は、抽出した用例で両者が使用したカタカナ語の全体の延べ語数と括弧内に1名当たりの延べ語数を示したものである。

表1. 日本語学習者と母語話者の使用量（全体延べ語数と1名当たり延べ語数）

	チェックする	リラックスする	オープンする	アップする	ストップする
日本語学習者	93 (0.093)	36 (0.036)	18 (0.018)	15 (0.015)	13 (0.013)
日本語母語話者	1 (0.020)	2 (0.040)	2 (0.040)	2 (0.040)	2 (0.040)

学習者の使用頻度が最も高かったのは「チェックする」の93で、次いで「リラックスする」36、以下「オープンする」18、「アップする」15、「ストップする」13と続く。一方、母語話者は「チェックする」1例のほかは、いずれの語も2例であった。I-JAS の参加者は日本語学習者1,000名と母語話者50名であるので1名当たりの調整頻度でみると、学習者の使用量は母語話者と比べて「チェックする」

¹ 中納言（検索システム） <https://chunagon.ninjal.ac.jp/static/ijas/about.html>（最終閲覧日2021年12月5日）

² 現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ) https://pj.ninjal.ac.jp/corpus_center/bccwj/（2021年12月5日）

³ NINJAL-LWP for BCCWJ (NLB) <https://nlb.ninjal.ac.jp/>（2021年12月5日）

では 4.65 倍と使用が多いが、「リラックスする」ではほぼ変わらず、その他の 3 語では 50%以下と使用が少ない結果となった（図 1 参照）。学習者と母語話者間にはカタカナ語の使用頻度の差がみられる場合もあるが、語によってその傾向は異なることが確認された。

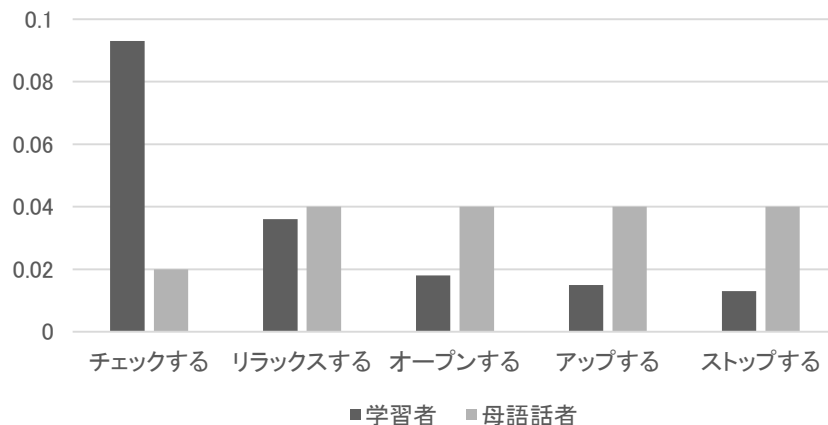


図 1. 日本語学習者と母語話者の使用量 (1 名当たり延べ語数)

また、表 2 に学習者の母語別の使用量（延べ語数）を示したように、「オープンする」「ストップする」では英語母語話者の使用がみられず、他の語も必ずしも英語母語話者の使用が多いとは言えない。調査語彙はいずれも英語を原語とするカタカナ語であるが、さまざまな母語話者に使用されていることがわかった。なお、学習者の英語能力は不明であるため、今後、英語能力の使用への影響に関しては検討が必要であろう。以下、それぞれ語ごとの結果について述べる。

表 2. 日本語学習者の母語別の使用量 (延べ語数)

チェックする		リラックスする		オープンする		アップする		ストップする	
母語	回	母語	回	母語	回	母語	回	母語	回
1 中国語(台湾)	21	1 英語	7	1 韓国語	7	1 中国語	6	1 トルコ語	4
2 英語	19	韓国語	7	2 中国語(台湾)	3	2 中国語(台湾)	3	2 インドネシア語	2
3 ハンガリー語	10	中国語(台湾)	7	3 ベトナム語	2	3 ネパール語	2	ドイツ語	2
4 フランス語	9	4 ドイツ語	3	ハンガリー語	2	4 英語	1	4 韓国語	1
5 スペイン語	6	ハンガリー語	3	5 スペイン語	1	韓国語	1	スペイン語	1
6 インドネシア語	4	6 中国語	2	タイ語	1	トルコ語	1	中国語(台湾)	1
トルコ語	4	ベトナム語	2	中国語	1	ポルトガル語	1	ビサヤ語	1
ベトナム語	4	ロシア語	2	フランス語	1			ベトナム語	1
9 その他	16	9 その他	3						
計	93		36		18		15		13

3.2 「チェックする」の結果

最も使用頻度の高い「チェックする」について、どのような文脈でどのような語と共起して使われ

ているのかを分析するため、I-JAS の用例を抽出した。「チェックする」と共起した語は、「地図」が 27 (29.0%)、「バスケット」・「籠」などが 19 (20.4%)、「メール」7 (7.5%)、「漢字」6 (6.5%)、「宿題」4 (4.3%) などであった。用例の一部を以下の(1)~(5)に示す。

- (1) ケンとマリは、目的地を地図でもう一度チェックしているので、異常に気付いていませんでした (中国語母語話者：CCT39)
- (2) ケンとマリがバスケットの中身をチェックしてみると、食べ物は全て犬に食べられてしまいました (タイ語母語話者：TTH09)
- (3) 簡単に掃除をしたり、ん、あ、あ、メール、メールをチェックしたりします (ロシア語母語話者：RRS28)
- (4) あの漢字だと思って、で一あとでなんかチェックして、それはあとで、あの辞書引くんですよ (韓国語母語話者：KKD37)
- (5) 家に帰ったらー、ちょっと、好きなアイドルのことをチェックして、で一パソコンをちょっと、ゲームをして、で寝ました (中国語母語話者：CCM15)

「チェック」の動詞としての意味は、『広辞苑第七版』によれば、「③照合すること。確認すること。④阻止すること。抑制すること。」とあり、『明鏡国語辞典』によると、「⑤ (俗) 確認して心にとめること、⑥勘定。会計。」という意味もあり多義的である。山下他 (2018) で、日本語母語話者は自由記述のコメントで「チェックする」の多義性に言及しており、山下・平田 (2020) でも、BCCWJ の母語話者の用例を分析し、「チェックする」がさまざまな意味・文脈で幅広く使われていることを指摘している。しかし、学習者の用例は、ほぼ③の「照合する・確認する」の意味で使われており、⑤の「確認して心にとめる」は(5)の 1 例のみで、「人の出入りをチェックする」といった④の「阻止する」意味の使用もなかった。一方、母語話者の用例は以下の(6)の 1 例のみで、⑤の俗語的な比較的新しい使われ方であった。なお、以下のその他の用例は、I-JAS の対話タスクの聞き手である調査者の発話であり計 16 例みられ、全て⑤の意味であった。このように、学習者は「チェックする」の使用頻度は高いものの、使用する意味は限定的であり、さまざまな意味で多義的に使用しているとは言えないことがわかる。

- (6) (父親が子どもの喜ぶプレゼントを) よくチェックしてたなあと思いました。(日本語母語話者：JJJ25)
- (7) じゃあお父様も、ち、こうチェックして…おそらく J さんのお誕生日にはこれだみたいな感じで選ぶんですね (JJJ25 調査者)
- (8) (おすすめのドラマの話) ちょっとぜひチェックしてみようと思います。(JJJ04 調査者)
- (9) (遊園地の話) そんなにすごいんですね。それはちょっとチェックしないといけませんね。(JJJ31 調査者)

タスク別にみると、「チェックする」は、ストーリーライティング SW1 (24 例 25.8%) とストーリー

テリング ST1 (23 例 24.7%) で多く使用されている⁴。これは、ピクニックという題された5コマのイラストを見てそのストーリーを話す、あるいは書くというタスクである。上記の用例(1)に加えて、以下の(10)~(12)に用例を示す。「チェックする」の共起語で最も多いのは、この文脈での「地図を」(19 例)と「地図で」(8 例)の「地図」計 27 例 (29.0%) であった。中には明らかな誤用のほかにも、発話の意味は伝わり誤りとは言い切れないものの違和感を覚える文もみられた。例えば、(1)「目的地を地図でチェックする」や(10)「行き先を地図でチェックする」のように「地図」+手段・方法の「で」格ではなく、(11)(12)のように「地図」そのものを「を」格でとる用例などである。

- (10) ピクニックの行き先を地図でチェックしている途中、犬がこっそりバスケットに忍び込んできました (中国語母語話者: CCM04)
- (11) ケンさんはマリさんと一緒に地図をチェックして、ピクニックによい所を選びたいです (ハンガリー語母語話者: HHG35)
- (12) 二人はマップをチェックして、その時、犬がバスケットーに、はいりました (中国語母語話者: CCM50)

そこで、同じタスクの文脈で母語話者が産出した用例をみてみると、「地図」と共起した用例は 95 例あった。その一部を(13)~(16)に示す。母語話者の用例では、最も多かった「見る」の 67 例をはじめ、「確認する」16、「眺める」3、「調べる」・「探す」・「相談する」・「広げる」2 など、「地図」がさまざまな語と共起していることがわかる。

- (13) 二人が地図を見ている間に、サンドイッチを入れたバスケットに犬が入ってしまいました (日本語母語話者: JJJ01)
- (14) ケンとマリが、地図で行き先を確認している時に、犬がバスケットに忍び込んで… (日本語母語話者: JJJ06)
- (15) 二人が今日の地図を眺めているすきに、ポチはバスケットに忍び込みます (日本語母語話者: JJJ08)
- (16) ケンとマリは、ピクニックの場所がわからず地図で探しています (日本語母語話者: JJJ15)

以上のように、学習者は「チェックする」の「意味」はとらえられており、使用量も母語話者より多い。また、学習者の日本語のレベル⁵をみると初級から上級の学習者まで幅広く「チェックする」を使用している。しかし、コミュニケーション上に問題はないと思われるが違和感を覚える用例も散見された。また、母語話者は学習者の使用が多くみられた文脈で「チェックする」は使用せず、その他の類義の和語や漢語の動詞を使い分けており、両者の使用にはずれがみられた。さらに、母語話者は俗語的な新しい意味での使用が多いという違いもみられた。

⁴ 対話タスクも使用の実数は 42 例と多いが、これは対話タスクの産出量が全体の約 7 割を占めるという総語数の差によるものと思われる。

⁵ I-JAS には学習者の日本語習熟度データとして J-CAT と SPOT の得点がある。

3.3 「オープンする」の結果

I-JAS において、日本語学習者による「オープンする」の使用は 18 例みられた。まず、中上級の学習者の用例を以下(17)～(19)に示す。

- (17) そして台湾に、その、店をつく、オープンします (中国語母語話者：CCT26)
- (18) バカンスシーズンになったら、えっと何だっけ、オープンするじゃないですか海水浴場って (韓国語母語話者：KKD11)
- (19) 江戸時代、かな分かんない、んー、そう、日本の、まだ、あの、日本人だけね、世界の、オープンしなかった (スペイン語母語話者：JJN11)

『広辞苑第七版』によれば、「オープン」の意味には「①開くこと。開始。開店。開業。②開いてあるさま。規制のないさま。開放。公開。」などがある。上記の用例(17)は①の「開店」、(18)は①の「開業」もしくは②の「開放」という意味で使用されており、これらは BCCWJ にもみられる自然な用法である。(19)は、鎖国に関する話題の中で、「オープンする」を②の「規制のないさま」の意味で使用しており、BCCWJ にも同様の使用がみられる。このように、中上級の学習者は、「オープンする」をおおむね適切に使用できているといえる。

次に、初中級の学習者の使用例を以下(20)(21)に示す。

- (20) バasketをあのオープンした時はあの彼らの犬は、あの中から、うん、出て、行って、あの、み、二人はびっくりしました (中国語母語話者：CCT28)
- (21) それでうちに、あ着く時、あドアをオープンあーし、することはできました、できませんでした (ベトナム語母語話者：VVN01)

上記の「Basketをオープンする」、「ドアをオープンする」のコロケーションは、BCCWJ にはみられなかった。(20)(21)ともに「閉じているものをひらく」意味だが、この用法は BCCWJ には少なく、「PC のファイルをオープンする」、「オープンカーの幌をオープンする」などに限定されていた。このように、初中級の学習者の使用例は中上級の学習者とは異なっており、適切に使用できているとはいえない。

また、(20)の「Basketをオープンする」のコロケーションは、「オープンする」の 18 例中 7 例(39%)を占めており、全てストーリーテリング (ST1) タスクで、食べ物が入ったBasketを開けるイラストを見て場面を描写したものだ。しかし、同じ場面を描写している I-JAS の日本語母語話者の発話をみると、母語話者は「Basketをあける」(26 例)、「Basketをひらく」(5 例)のみを使用しており、「Basketをオープンする」の使用はみられなかった。このことから、初中級の学習者にとって、「オープンする」と類義語との使い分けが課題であるといえる。

3.4 「ストップする」の結果

I-JAS において、日本語学習者による「ストップする」の使用は 13 例みられた。この語は、上級学習者による使用がみられず、13 例すべてが初中級の学習者によるものであった。また、英語母語話者による使用も 1 例もみられなかった。学習者の用例を以下(22)～(24)に示す。

- (22) お父さんは、車をストップした（トルコ語母語話者：TTR02）
- (23) 日本語を上手になりたかったです，もうちょっとオランダ語をストップしました（ドイツ語母語話者：GAT21）
- (24) 警官は一，その一，光景を見て，あの一，ケンは一，泥棒思っ一，そし一，なんか一，う一，ストップ一，させました一（中国語母語話者：CCT60）

『用例でわかるカタカナ新語辞典』によると、「ストップ」の意味は「①停止すること。中断すること。」などがある。「停止する」意味の場合，学習者は(22)のように「車，バス，ボート」等の乗り物に共起させることが多く，13例中7例（54%）を占めていた。しかし，BCCWJでは「コンピュータがストップする」，「思考がストップする」，「工場のラインをストップする」等の使用がみられ，乗り物に共起させている用例は少なかった。

(23)は「(勉強を) 中断する」意味で「ストップする」を使用している。しかし，BCCWJには「支援をストップする」，「研究がストップする」などはみられたものの，「勉強をストップする」のコロケーションはみられなかった。

(24)は「人を制止する」という意味で「ストップする」が使用されている。しかし，BCCWJには「(人)をストップする」というコロケーションはみられなかった。かわりに，「制止する，抑止する」意味では，「写真の掲載をストップする」，「メラニンの生成をストップする」などがみられた。

このように，学習者と母語話者では用例が異なっており，初中級の学習者が「ストップする」の共起語を適切に選択できていないことがわかった。

3.5 「リラックスする」の結果

I-JASにおいて，日本語学習者による「リラックスする」の使用は36例みられた。「リラックスする」の使用回数と，学習者の日本語のレベルを，表3に示す。表3のとおり，中級前半から上級の学習者が「リラックスする」を使用していることがわかる。

表3. I-JASにおける日本語学習者の「リラックスする」の使用回数と日本語のレベル

J-CAT(合計点)	日本語のレベル	「リラックスする」の使用回数
100点以下	初級	0
101-150点	中級前半	3
151-200点	中級	9
201-250点	中級後半	13
251-300点	上級前半	6
301-350点	上級	5
351点以上	日本語母語話者相当	0
合計		36

次に、学習者の用例を以下(25)～(29)に示す。

- (25) 友達と一緒に遊んだり、そういうものが、好きだった頃があ、ありました、でも、今は、また、静かに、ゆっくりリラックスしたほうが、いいんです（韓国語母語話者：JJC37）
- (26) お金、余裕なので、あの一、リラックスしたいと思います、老後は（中国語母語話者：CCT23）
- (27) そこ（レストラン）は、あ、リラックスしている感じです（中国語母語話者：CCT26）
- (28) 言葉の先生、はあーみんなは大好き、です、あんあーもつとあの一、リラックス、してる人、あの一、いつも優しい、先生（英語母語話者：ENZ12）
- (29) 公園に行ってピクニックをしたり、リラックスしたり、遊んだり、することにしました（英語母語話者：ENZ38）

「リラックス」の意味は、『広辞苑第七版』には「くつろぐこと。力をぬくこと。緊張をゆるめること。弛緩。」、『名鏡国語辞典第二版』には「緊張をほぐして、くつろぐこと。」とあり、学習者の用例をみると、意味は理解できていると思われる。しかし、(25)～(29)の文脈の場合は、日本語母語話者であれば「リラックスする」ではなく別の語を使用するであろう。例えば、(25)は「落ち着いて過ごす」、(26)は「のんびりする」、(27)は「ほっとする」、(28)は「おだやかな」、(29)は「ぼーっとする」などである。しかし、学習者はこれらすべてを「リラックスする」の一語で表現している。このような違和感のある使用は、筆者の見限り、学習者の用例 36 例中 22 例（61%）にのぼった。

違和感のある用例をさらに述べる。I-JAS の対話 (I) タスクに、「将来、都会に住みたいか、田舎に住みたいか」という話題があった。この問いに「田舎に住みたい」と回答した学習者の多くは、その理由について、「田舎はリラックスできるから」と回答していた。以下、(30)(31)にその用例を示す。

- (30) 心もちょっと痩せる、効果があつて一、静かで一リラックス、することができ一、もう、とてもいいと思いますけど一（ハンガリー語母語話者：HHG47）
- (31) 綺麗で一ひろ、ん一地域も広くて一、ん一感じはん一都市よりリラックス、できます（中国語母語話者：CCS60）

しかし、同じ問いを日本語母語話者に行った結果によると、「田舎に住みたい」という回答のうち、その理由を「リラックスできるから」と述べている例はなかった。母語話者は理由を以下(32)～(34)のように述べている。

- (32) ちょっとのんびりした環境一がいいかしら（日本語母語話者：JJJ02）
- (33) なんかやっぱり、こうゆつ、気持ちがゆったりじゃないですけど一（日本語母語話者：JJJ17）
- (34) 田舎のほうが一ゆっくりにできるっていうところ（日本語母語話者：JJJ27）

以上のことから、学習者が「リラックスする」とその類義語を適切に使い分けられていないことがわかる。

3.6 「アップする」の結果

I-JAS において、日本語学習者による「アップする」の使用は 15 例みられた。学習者の用例を以下(35)～(38)に示す。

- (35) 今、日本語のレベルはアップしましたが、まだ、まだ大変と思います (英語母語話者：EAU29)
- (36) お客さんと会話をして一、日本語力アップしたいんですね (ネパール語母語話者：JJC39)
- (37) モデルさんを探して、あの、そのモデルさんに、メイク、メイクアップするとか (中国語母語話者：JJC35)
- (38) 自分の、あー歌ってる歌を、アップして、他の人に聞かせて (中国語母語話者：CCT16)

『広辞苑第七版』によれば、「アップ」の意味は「①上がること。上げること。②仕上げること。完了すること。」、「⑤アップロードの略。」などがある。学習者の用例をみると、(35)は①「(程度が) 上がる」、(36)は①「(程度を) 上げる」と適切な意味で使用されており、さらに、自動詞・他動詞ともに使用できている。(37)は、複合語である「メイクアップする」を適切に使用しており、この他に「レベルアップする」、「ブラッシュアップする」などの複合語の使用もみられた。(38)は、⑤の「アップロードの略」の意味で使用している。これらをみると、学習者は、「アップする」をおおむね適切に使用できているといえる。

4. まとめと今後の課題

今回、カタカナ語サ変動詞 5 語の日本語学習者による使用実態を I-JAS を用いて分析した。また、必要に応じて I-JAS と BCCWJ の日本語母語話者の用例を参照し、学習者にとって何が難しいのか、何が課題となっているのかを分析した。その結果、「アップする」は、おおむね適切な使用が確認された。一方で、「チェックする」、「オープンする」、「ストップする」、「リラックスする」は、学習者にとって共起語の選択と類義語との使い分けが課題であることがわかった。今回分析した語彙は五つと限られていたが、学習者がカタカナ語の意味を理解しているにもかかわらず、日本語母語話者にとって不自然な使用をする例が散見された。そのため、日本語教師は、語の意味だけではなく、共起語や文脈での類義語との使い分けも学習者に教える必要があるといえる。

また、山下・轟木・畑 (2021) は、質問紙調査によって日本語学習者にカタカナ語を含む文を産出させたところ、「学習者がカタカナ語の使用を回避していた」と指摘している。しかし、「チェックする」では、学習者による使用頻度が母語話者より高く、「オープンする」でも、「バスケットを開ける」を「バスケットをオープンする」と言ってしまうようなカタカナ語の過剰な使用がみられた。さらに、「チェックする」の学習者の用例は「照合する。確認する。」の意味に限定されており、多義的に使用できていないことがわかった。つまり、今回のコーパスを用いた調査によって、語によっては学習者のカタカナ語の使用頻度が高いが、適切に使えていないという実態が判明したといえる。

しかし、コーパスの調査からは、使用実態は分かっても、調査対象者がなぜその語を選択したのかまではわからない。学習者によるカタカナ語の不自然な使用がみられた場合、類義語との使い分けが課題なのか、そもそも他の類義語を知らないためコミュニケーション上仕方なくカタカナ語を使用したのかは見えてこない。今後は、この点も分析できるような調査を行っていきたい。

謝辞：本研究は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構が所有するデータ集「多言語母語の日本語学習者横断コーパス (I-JAS)」のオンライン公開版を利用しました。また、本研究は JSPS 科研費 JP20K00699 の助成を受けたものです。

参考文献

- (1) 石綿敏雄 (2001) 『外来語の総合的研究』東京堂出版
- (2) 金愛蘭 (2012) 「外来語の基本語化」陣内正敬 (編) 『外来語研究の新展開』おうふう, pp.231-270.
- (3) 中山恵利子・陣内正敬・桐生りか・三宅直子 (2008) 「日本語教育における『カタカナ教育』の扱われ方」『日本語教育』138, 83-91.
- (4) 茂木俊伸 (2015) 「コーパスを用いた外来語サ変動詞の分析-『マークする』を例として-」『文学部論叢』106, 83-95.
- (5) 山下直子・轟木靖子・畑ゆかり (2018) 「日本語母語話者のカタカナ語と類義語の使い分け：カタカナ語と類義の和語・漢語の調査から」『香川大学教育学部研究報告第1部』149, 45-52.
- (6) 山下直子・平田史織 (2020) 「日本語母語話者のカタカナ語とその類義語の使用実態-BCCWJ コーパスの分析から-」『日本語教育連絡会議論文集』33, 109-118.
- (7) 山下直子・轟木靖子・畑ゆかり (2021) 「カタカナ語とその類義語の文脈による使い分け：質問紙調査の結果から」『2021 年度日本語教育学会春季大会予稿集』, 104-109.

辞書

- (1) 学研辞典編集部編 (2016) 『用例でわかるカタカナ新語辞典 第四版』学研
- (2) 北原保雄編 (2010) 『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- (3) 新村出編 (2018) 『広辞苑 第七版』岩波書店